

中瀬古和略歴

中瀬古和は 1908 年に同志社女学校教頭中瀬古六郎の次女として京都に生れた。幼児よりキリスト教を通して音楽に親しんだ。1926 年に同志社女学校普通部卒業。その後渡米。1930 年にワシントン大学音楽部ピアノ科卒業、BM（音楽学士）を受け、1931 年にイーストマン音楽学校大学院音楽学部専攻修了、MM（音楽修士）を受ける。1932 年～33 年、ベルリン国立高等音楽院でヒンデミットに作曲を学ぶ。ヒンデミットの唯一の日本人女子生徒であった。

1942 年第 11 回 NHK・毎日新聞社主催音楽コンクール作曲部門第 3 位入賞。1949 年同志社女子専門学校講師を経て同志社女子大学教授となる。1950 年にレオニード・クロイツァー著・中瀬古和「ある音楽家の美学的告白」（大化書房）出版。1951 年に毎日音楽特別賞を受賞。同年、鳥井晴子の伴奏者としてヒンデミット作曲「マリアの生涯」を本邦初演。

1954 年エール大学音楽学校においてクレエンビュールもとで多機能性の技法などを研究。

1956 年、エール大学より MM（音楽修士）を受ける。

1956 年～1972 年、NHK・毎日新聞社主催音楽コンクールピアノ部門審査員をつとめる。

1973 年 5 月 18 日永眠、享年 64 年 6 ヶ月。

（2019 年 3 月 3 日開催の同志社女子大学音楽学会《頌啓会》「中瀬古和生誕 110 年記念メモリアルコンサート」のプログラム冊子より）